

エコに関する意識・行動調査
～生活者を6タイプに分類～



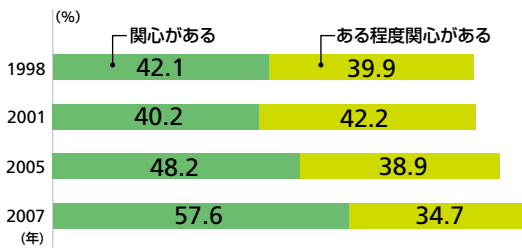
調査背景

近年、異常気象や、石油高騰による代替エネルギーとしてのバイオ燃料の需要増等、地球環境の変化とその影響を身近に感じるようになってきました。また、「エコ」という言葉がメディアに溢れるようになり、人々の地球環境に対する関心も年々高まってきています（図1）。

しかし、生活者のエコ意識・行動は、属性によって比較してみると一様でないことが分かります。例えば「日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている」については、年代を追って高くなり60代では20代の約2倍の人が「いつも行っている」と答えています（図2）。また、「買い物時にポリ袋やビニール袋などをもらわない」人は、町村では16.5%であるのに対し、大都市においては26.5%と、大都市ほど高い割合を示す傾向が見られました（図3）。

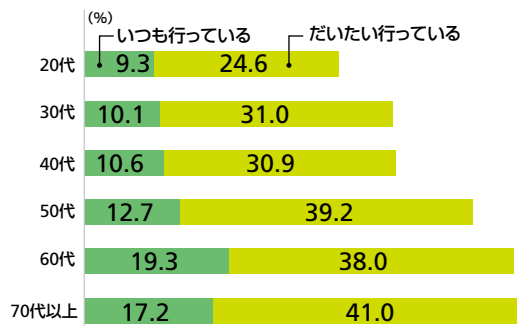
そこで、生活科学研究室では生活者のエコに関する意識・行動についてアンケート調査を実施しました。その結果、生活者をそれぞれ特徴がある6つのタイプに分類できました。そこから生活者のエコ意識・行動の現状と食との関連について分析・考察してみました。

図1 地球環境に対する関心



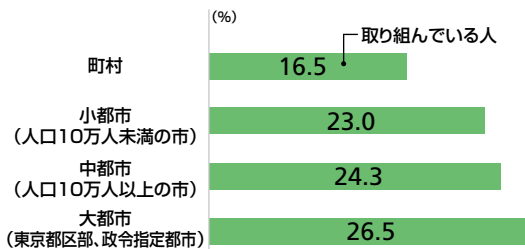
2007年度 内閣府「地球温暖化対策に関する世論調査」
調査対象者：全国20歳以上

図2 日常生活においてできるだけゴミを出さないようにしている



2006年度 環境省「環境にやさしいライフスタイル実態調査」
調査対象者：全国20歳以上

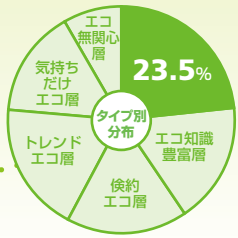
図3 買い物の時にポリ袋やビニール袋などをもらわない



2005年度 内閣府「環境問題に関する世論調査」
調査対象者：全国20歳以上

目次

タイプ1 「エコ身近層」	2	タイプ5 「気持ちだけエコ層」	6
タイプ2 「エコ知識豊富層」	3	タイプ6 「エコ無関心層」	7
タイプ3 「節約エコ層」	4	あなたはどのタイプ？	
タイプ4 「トレンドエコ層」	5	あなたのエコ意識・行動パターン	
		簡易診断	8



タイプ1 エコ身近層



できることから
エコに取り組んでいます！



属性

女性、既婚、子供がいる、世帯年収が中の上（700-900万円）くらい、東名阪以外の県に10年以上住んでいる、短大卒、主婦・パートの人が全体に比べ多い。

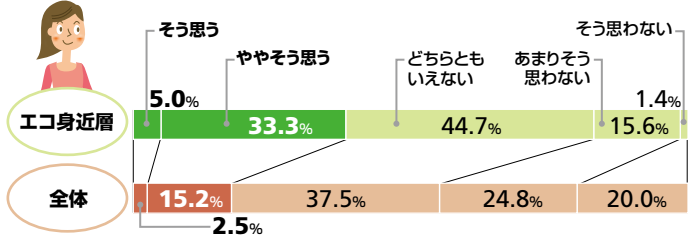
意識／行動

- 意識 ▶ エコブームやメディアでの話題性に影響を受けやすく、環境活動に対して前向き。
- 行動 ▶ 身近なエコ活動を実施するが、エコ製品購入や環境ニュースへの関心は平均並み。

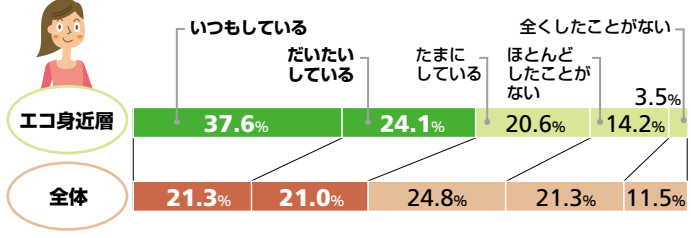
性格

- 現在 ▶ 家庭を大事にし、まじめ。自分らしさ、モラルを大切にする。健康的で親しみやすい。
- 願望 ▶ 自信、向上心、品があり、テキパキしている。

有名人がエコについてメディアで紹介するので、エコの見方が変わった



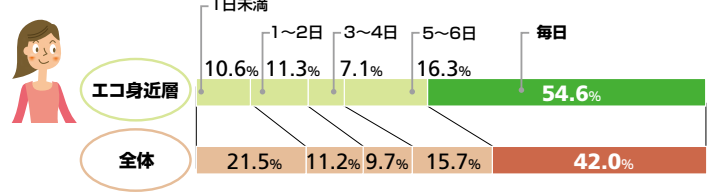
地域・スーパーの強制ではない
自主的な資源回収（食品トレー・牛乳パック等）に参加している



食との関連

食についての関心が高い傾向にあります。家族のことを考えて家庭で調理をする人が多く、食事に手間をかけている様子が見えます。

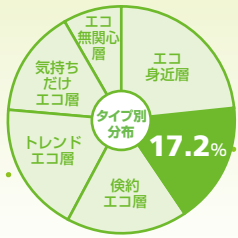
自宅で、料理をするのは、週に何日ですか



よりエコ行動を行うようになるためには…

地球レベルのエコニュース・現象を身近な話題として興味を持つことで、エコに関する知識が身につく、より行動の裾野が広がるのではないのでしょうか。





タイプ2 エコ知識豊富層

自分のエコ度
56.3点
(全体平均: 51.9点)

エコに関する情報は
気になりますね。



属性

世帯年収が高い(900万円以上)、給与所得者(事務・企画)、大学・大学院卒が全体に比べ多い。

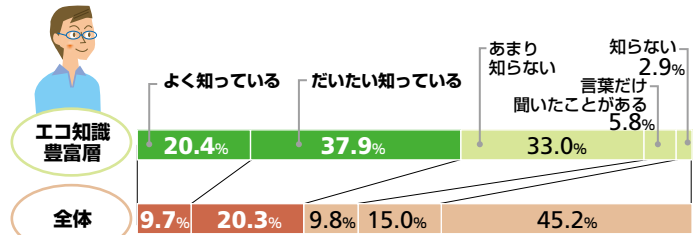
意識/行動

意識 ▶ エコに関する知識が群を抜いて豊富。エコブームやメディアでの話題性を気にする傾向があるが、世間のエコ活動に懐疑的なところもある。
行動 ▶ 全体に比べ、平均以上のエコ行動を行う。

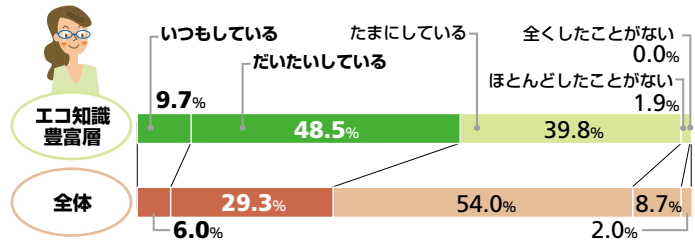
性格

現在 ▶ 知性、自信がある。明るく、元気。家庭、自分らしさを大切にしている。
願望 ▶ 健康的で、アクティブになりたい。家庭を大切にしたい。

ゴミの3Rという言葉を知っている



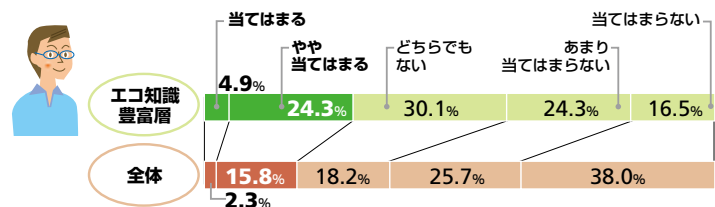
環境問題に関する新聞記事やニュースを積極的に読んだり、見たりしている



食との関連

食に関する知識も豊富で、健康を意識し、論理的に「カロリー」「栄養バランス」を考えてメニューを選択する傾向があります。

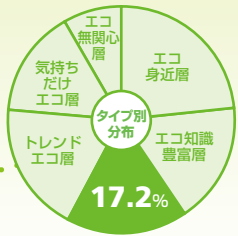
食事バランスガイドについて説明できる



よりエコ行動を行うようになるためには…

個々人が行うエコ行動の大切さと、その影響について正しい情報を入手し、疑問点を払拭することで、よりエコ行動を行い易くなるのではないのでしょうか。





タイプ3 儉約エコ層

自分のエコ度

53.1点

(全体平均：51.9点)

儉約がいつのまにか、
エコになってます。



属性

子供がいない、世帯年収は平均以下（250万円未満）、東名阪に10年以上住んでいる、高専・専門学校卒が全体に比べ多い。

意識／行動

意識 ▶ 儉約家であり、エコブームやメディアでの話題性に対する反応はかなり低い。

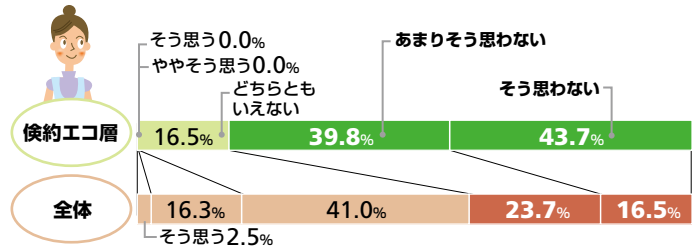
行動 ▶ 物の再利用に関する行動を実施する割合が、他の層に比べ著しく高い。

性格

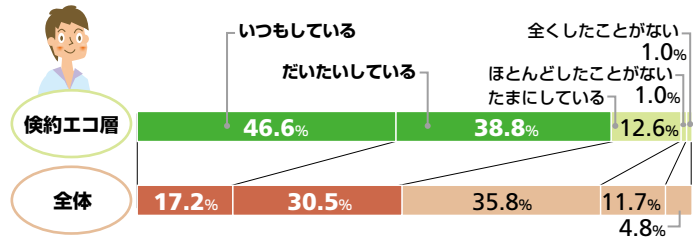
現在 ▶ 自分らしさ・モラル・伝統を大切に、向上心がある。アクティブ。頑固。

願望 ▶ 賢く、協調性のある人間になりたい。

最近、エコという言葉がブームなので、この波に乗りたい



空き箱を小物入れにするなど、不要になったものを異なる用途で再利用することを捨てる前に検討している



食との関連

「自宅にある食材」をうまく利用し、家で調理をしている様子うかがえます。コンビニエンスストアを利用した食事の頻度が低いのも特徴です。

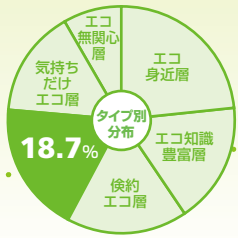
食事のメニューは、主にどのようなポイントで選びますか



よりエコ行動を行うようになるためには…

やりくり上手でお財布に優しいということが、地球に優しいことにも繋がっています。それを理解してもらうことが効果的なようです。





タイプ4 トレンドエコ層

自分のエコ度
48.7点
(全体平均: 51.9点)

製品購入時、
環境に配慮していることは
重要なポイント!



属性

男性が多い。(性別以外に特徴的な属性は特にならない)

意識/行動

意識 ▶ エコブームは気になるが、世間のエコ活動が本当に環境のために良いのか疑問も持っている。

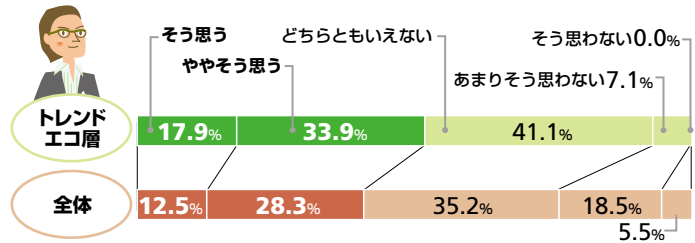
行動 ▶ エコ製品をよく購入する。その他のエコ行動の実施度は低め。

性格

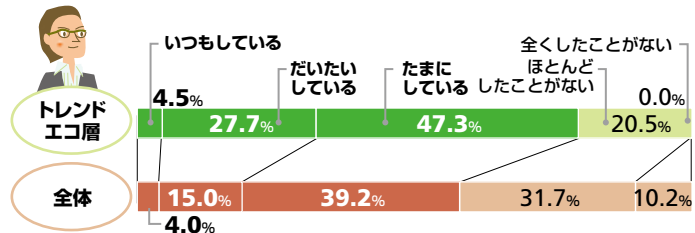
現在 ▶ 面倒なことが嫌い。浪費家。周囲を気にしない。家庭的でない。まじめでない。

願望 ▶ さわやかで、温かみ、ゆとりのある、まじめな人になりたい。

企業のエコ(環境配慮)活動は、
そもそも環境に悪い影響を与えている企業の罪滅ぼしである



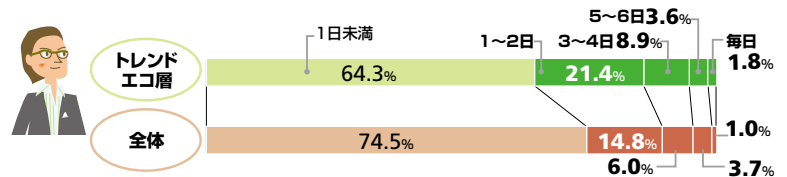
通常のものと同値段が変わらなくても/多少値段が高くて、再生紙などのリサイクル商品、エコマーク商品を購入するようにしている



食との関連

コンビニエンスストアを利用した食事の頻度が高い一方、料理や後片付けはあまり行わない傾向があります。メニューを「自分の好み」「値段」を基準にして選ぶことから、消費活動への関心の高さがうかがえます。

コンビニエンスストアで買ったもので食事を済ませることが1回でもある日は、週に何日ありますか



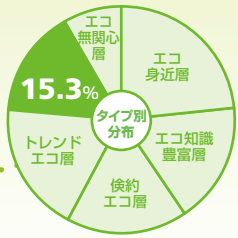
よりエコ行動を行うようになるためには...

消費活動に関心が高く、面倒なことが嫌いなので、エコ家電の購入や購入に伴うエコ活動(例: 購入資金の一部が環境活動にまわされる)などが有効であると考えられます。

エコ製品
購入

これならできる!





タイプ5 気持ちだけエコ層

自分のエコ度

45.8点

(全体平均：51.9点)

エコに取り組みたい
気持ちはあるんだけど、
実行にはなかなかね…



属性

未婚、子供がいない、親などと同居・単身、居住年数3年未満、給与所得者（営業・販売・接客）の人が全体に比べ多い。

意識／行動

意識 ▶ 「自然を守る」「ごみの分別を守る」などのマナーやモラル意識は強い。

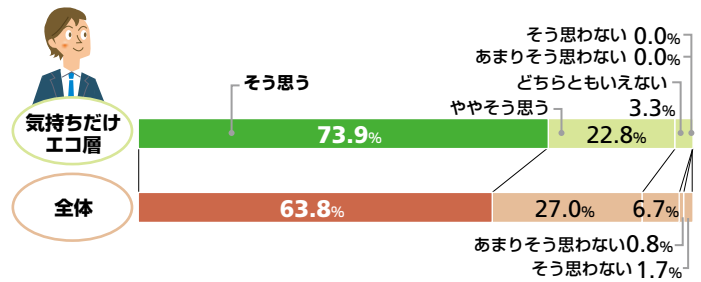
行動 ▶ 物の再利用に関して行動する割合が、他のクラスターに比べて著しく低い。その他の行動を実施する割合も全体的に低め。

性格

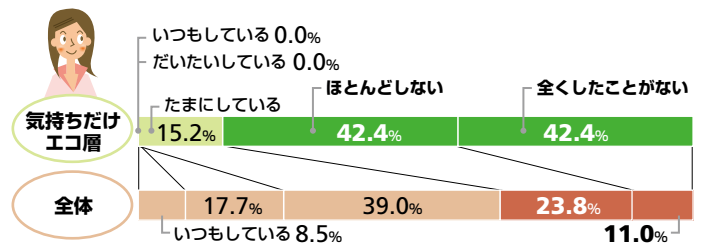
現在 ▶ 協調性が強く、自信はあるが、自己主張が苦手。家庭的ではない。

願望 ▶ 知的で洗練された、仕事ができる大人になりたい。

美しい自然を次の世代にも残したい



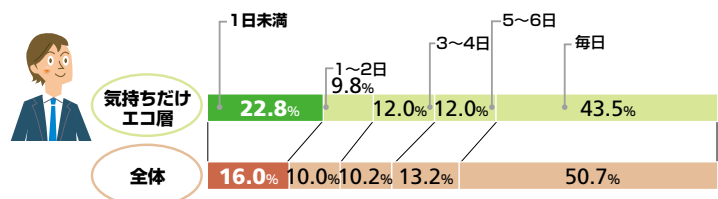
使い捨ての容器や、使い捨ての食器を洗って何度も使うようにしている



食との関連

夕食を家で食べる機会が多いのですが、調理や後片付けなどの実際の行動はしない傾向があります。

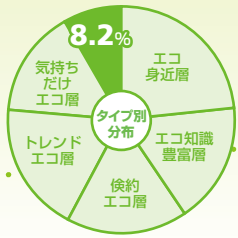
自宅で、食事の後片付けをするのは、週に何日ですか



よりエコ行動を行うようになるためには…

家事の中にエコ行動につながるシーンはたくさんあります。自ら進んで家事をすることで、身近にエコを体感できるのではないのでしょうか。





タイプ6 エコ無関心層

自分のエコ度
35.4点
(全体平均：51.9点)

エコかあ。
あんまり、興味がないな。



属性

20代、未婚、子供がいない、親などと同居・単身の人が全体に比べ多い。

意識/行動

意識 ▶ 「自分自身に直接メリットがなくても環境のために何かしよう」という意識は低く、他人のエコ行動も気にならない。

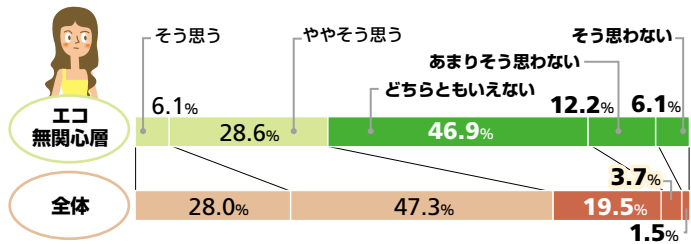
行動 ▶ エコに対しての行動を実施する割合が、全般的に低い。

性格

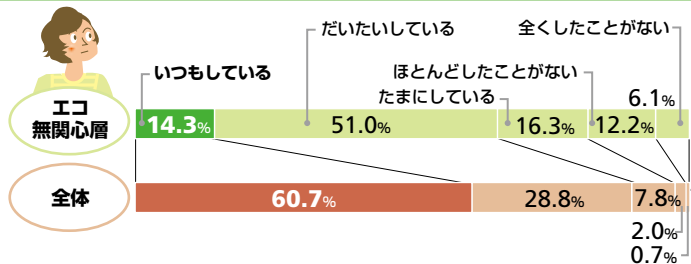
現在 ▶ おとなしく、他人に流されやすい。面倒なことが嫌い。自己主張・モラル・元気がない。

願望 ▶ まじめで、元気になりたいと思う割合が比較的高いが、願望は総じて低い。

節約になる等、個人的なメリットがなくても環境に配慮した取り組みを行っていきたい



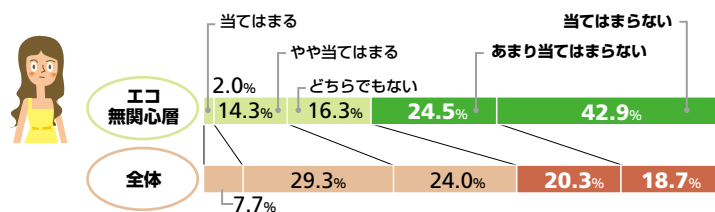
地域で決められたルールに従い、きちんとゴミを分別している



食との関連

食に対して関心が低い傾向があります。また、あまり家庭生活に関わらず、調理・片付けを行う頻度も低いようです。

なるべく地元産の食材を買うように心がけている

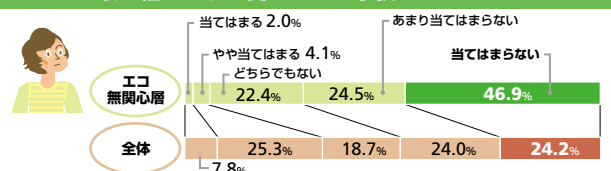


よりエコ行動を行うようになるためには…

エコに対する家族の働きかけが低いことが影響しているようです。家族や友人など身近な人がエコ行動を働きかけるのも、方策のひとつではないでしょうか。



エコに取り組むように働きかける家族がいる



あなたのエコ意識・行動パターン簡易診断

診断法説明

①の質問の中で、当てはまると思う項目の回答欄にチェックして下さい。回答が終わりましたら、A～Dそれぞれのチェックした個数を数え、回答欄の一番下のチェック合計に記入してください。その個数にしたがって、②のチャート形式の質問に答えていただくと、あなたのエコパターンが診断できます。ゴールに書いてあるページに記載されているタイプが、あなたのエコ意識・行動パターンです！

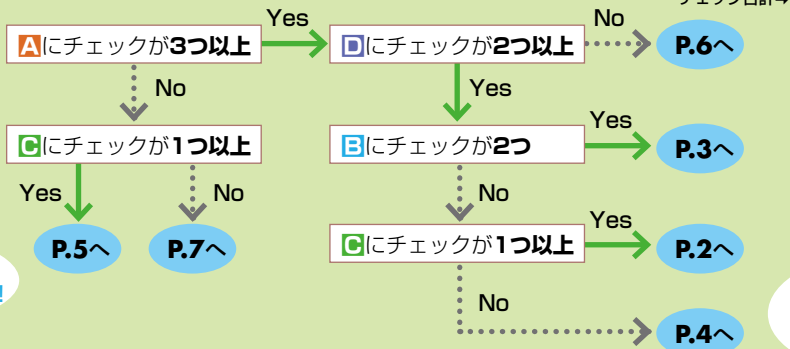
1 質問

あてはまる質問にチェックしてください

節約になる等、個人的なメリットがなくても環境に配慮した取り組みを積極的に行っていきたい	<input checked="" type="checkbox"/>			
LCA（ライフサイクルアセスメント）という言葉聞いたことがある		<input checked="" type="checkbox"/>		
最近、エコという言葉が話題なので、この流れに乗ってみても良いと思う			<input checked="" type="checkbox"/>	
使用していない家電製品は、コンセントからプラグを抜くように心がけている				<input checked="" type="checkbox"/>
物を長く使うために、大切に使うようにしている	<input checked="" type="checkbox"/>			
通常のものと同値段が変わらなくても、だいたいリサイクル商品、エコマーク商品を購入する			<input checked="" type="checkbox"/>	
風呂の残り湯をいつも洗濯に使用している				<input checked="" type="checkbox"/>
地域で決められたゴミの分別を守っていない人を見かけるととても気になる	<input checked="" type="checkbox"/>			
ゴミの3Rという言葉の意味をだいたい知っている		<input checked="" type="checkbox"/>		
地域・スーパーの強制ではない、自主的な資源回収（食品トレー・牛乳パック等）にだいたい参加している				<input checked="" type="checkbox"/>
いつでも決められたルールに従い、きちんとゴミを分別している	<input checked="" type="checkbox"/>			
有名人がエコについてメディアで紹介するので、エコの見方がちょっと変わったと思う			<input checked="" type="checkbox"/>	
夏場、冷房は設定温度を28度以上にするか、使用しないようにしている				<input checked="" type="checkbox"/>
観光、余暇活動では、自然を破壊しないように気をつけている	<input checked="" type="checkbox"/>			

2 チャート

スタート



チェック個数にしたがって進んでいこう！

チェック個数の合計を記入してね！

※この簡易診断は、アンケートを分析する際に用いたものとは異なります。

まとめ

今回分類した各タイプを分析していくなかで、エコ行動を推進する背景として、家事に関わること、エコ知識・節約意識を持つこと等があげられました。

また、全体的に何らかのエコ行動を行っている人が、自身のエコ度を高くつける傾向があり、実際に行動を起こすことで、意識が芽生え、さらなる行動に繋がっていくという良い循環を引き起こすことも推察されました。

今回の調査の中で食生活についての質問を行ったところ、各タイプともエコ意識・行動と「食」に強い関連性が見出されました。エコ行動をよく行う人は、調理や片付けを行う頻度が高く、エコ意識が高い人は「食」に関する意識も高い傾向にありました。これらのことから、調理等をよく行うことで、エコを意識し行動を実施する機会に恵まれ、そこからエコに関連した食意識も高まるといった、良い相関が存在していると考えられました。

まずは家庭の中で小さなエコ行動を実践してみること、そしてエコに関する知識を身につけ、広い視野でエコについて考えていくことが、より大きなエコ行動に繋がっていくように感じました。

調査概要

調査対象：全国 20-50代 男女
サンプル数：600（人口動態に基づき、年代・性別に対象者数を決定）
調査方法：インターネット調査

分析方法：生活者のエコ意識・行動の調査結果を基に、クラスタ分析により生活者を分類
実施時期：2007年9月27日～9月28日

日清オイリオグループ株式会社

■お問合せ先
生活科学研究室

<http://www.nisshin-oillio.com>

〒104-8285 東京都中央区新川1-23-1 TEL.03-3206-5218



揮発性有機化合物を含まない大豆油の Non-VOCインキを使用しています。

